

<執筆細目>

1. 投稿・提出方法

ホームページより「投稿エントリーカード」をダウンロードし、必要事項を記入の上、編集委員にメールで送付して投稿のエントリーを行って下さい（同年度号に掲載を希望する場合の締切：3月31日）。その後、各種提出原稿フォームをダウンロードし、原稿を作成して下さい（投稿カードを除き、これらのファイルはどれも仕上がりと同じ **B5版**です。サイズをA4に変更しないで下さい）。

提出原稿は、最新の執筆細目と各種提出原稿フォームを十分に確認した上で、作成・提出して下さい。また、Word のフィールド機能（見出し作成機能・引用文献リスト作成機能等、自動的に番号を付与する機能）は一切使用しないで下さい。執筆に際してご利用になった場合は、解除して下さい。

下記の必要書類をそろえてメールまたはオンラインストレージで編集委員に提出して下さい（同年度号に掲載を希望する場合の締切：5月20日）。紙媒体をご提出いただく必要はございません。

送付先：aant.edit@gmail.com

提出物	
論文	調査研究速報／書評
原稿（Word ファイル）	原稿（Word ファイル）
原稿（PDF ファイル）	原稿（PDF ファイル）
欧文要旨	写真・図・表
写真・図・表	写真・図・表のキャプション・リスト
写真・図・表のキャプション・リスト	投稿カード
投稿カード	

2. 枚 数

投稿する原稿の枚数には原則として下記の制限を設けます。いずれも本文、図・表、謝辞、註、参照文献リストなどを含めた枚数です。各種提出原稿フォームを基にページ数を算出してください。

論 文：20 枚以内 + 欧文要旨

調査研究速報：5～10 枚程度

書評・コメント：2～4 枚

3. 構 成

論 文：題名、日本語要旨、キーワード、目次、本文、謝辞、註、参考文献リスト、欧文要旨。

調査研究速報：題名、本文、謝辞、註、参考文献リスト。

書 評：書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁、定価、本文。
これに可能な限り著者の返答を載せます。

4. 日本語要旨

400 字（論文のみ）。

5. 欧文要旨

700 語（論文のみ）。

6. 欧文タイトル

論文、調査研究速報、書評のカテゴリーにかかわらず付して下さい。

7. キーワード

日欧それぞれ 5 語程度付して下さい（論文のみ）。

8. 章立て

章の見出しには、全角算用数字による番号と全角ピリオドを付して下さい。節や項を設ける場合には、下記の例に従い、半角で番号を付して下さい。

例) 章 1. はじめに 節 2-1. 調査の経緯
 項 3-1.□1) 土器（□は半角スペース、全角片括弧）

9. 文字（フォントとポイント）

- ・本文、謝辞、註、参考文献

日本語：MS 明朝 / 欧文：Times & New Roman / 9 ポイント

- ・写真、図、表のキャプション

日本語：MS ゴシック / 欧文：Times & New Roman / 9 ポイント

- ・論文タイトル

日本語：MS 明朝 / 欧文：Times & New Roman / 15 ポイント

- ・論文サブタイトル

日本語：MS 明朝 / 欧文：Times & New Roman / 12 ポイント

- ・章の見出し

日本語：MS 明朝 / 欧文：Times & New Roman / 11 ポイント

- ・節と項の見出し

日本語：MS 明朝 / 欧文：Times & New Roman / 10 ポイント

- ・算用数字はすべて半角を用いて下さい（章の見出しの連番は除く）。

- ・本文、謝辞、註は、（ ）、[]ともに、全角を用いて下さい。
- ・参考文献では、下記のようにして下さい。
日本語：（ ）全角 / 欧文：[]半角

1 0. 本文・註における文献の引用

[著者の姓□刊行年：ページ数]。(□は半角スペース、[]は全角の大括弧)
例)である[石田 1967:25-30]。 泉 [1967:33]によれば、.....

1 1. 註

本文中に、^(註1)、^(註2) ...と通し番号を付し、後註(文末脚注)としてまとめて下さい(本文・謝辞・参考文献・註の順)。完成原稿では、本文・謝辞・註・参考文献の順で編集します。

1 2. 人名・地名などの表記

- 1) 人名は、初出では「カナ・フルネーム(原綴)」とし、2回目以降は基本的に姓のカナ表記で示してください。

例) リチャード・バーガー (Richard Burger)、バーガー

- 2) 一般的によく知られているものを除き、地名や遺跡名についても、初出では「カナ表記(原綴)」で示してください。

例) エク・バラム (Ek Balam)

1 3. 現地語による呼称の表記

イタリック体で表記して下さい。

例) エル・コメルシオ (*El Comercio*) 紙によれば、.....

1 4. 写真、図、表

著者が作成し、写真、図、表のファイルを圧縮していないオリジナルサイズで提出して下さい。写真は、jpeg、tiff、gif、png等のファイル形式で、トリミング済みのグレースケール(モノクローム)とします。ファイル名は「田中：写真1」「田中：図1」「田中：表1～3」等、容易に同定できるものにして下さい。

これとは別に、査読用・確認用として、写真、図、表をキャプションと共に本文中にレイアウトした版下も提出して下さい。版下用の写真、図、表は、必ず圧縮してファイルのサイズを軽くした上で、原稿に挿入して下さい。原則として、キャプションは、「図1□□○」、「写真1□○○」、「表1□○○」(数字は半角、□は全角スペース)のいずれかとし、表には上、図には下に置いてください。

写真、図、表のキャプションは、写真、図、表の中には埋め込まずに、原稿上に直接打ち込んで下さい(必要に応じて、テキストボックスをご利用下さい)。また、原稿とは別に写

真、図、表のキャプションをリスト化したファイルも提出して下さい。

1 5. 参照文献リスト

参照文献リストとして、以下の細目を十分にご確認の上、論文末に一括して示して下さい。

1) 欧文文献・邦文文献ともに、著者の姓名のアルファベット順に配列して下さい。ただし、欧文・邦文ともに大量となる場合は、別々にアルファベット順にまとめて下さい。

2) 単著本の場合

著者姓名（改行）、書名、出版社、出版地。書名はイタリック体で示して下さい。

例) Hyslop, John

□1984□*The Inka Road System*. □Academic Press, □Orland.

(以下、□は全角スペース、□は半角スペース)

3) 雑誌の場合

著者姓名（改行）、年号、論文名、雑誌名、巻、号、ページ数。

例) Sabloff, Jeremy A.

□1985□*American Antiquity's First Fifty Years: □An Introductory Comment.* □*American Antiquity* □50(2): 228-237.

4) 論文集の場合

著者姓名（改行）、論文名、所収書名、編者名、ページ数、出版社、出版地。

例) Hammond, Norman

□1991□*Inside the Black Box: Defining Maya Polity.* □*In Classic Maya Political History: □Hieroglyphic and Archaeological Evidence,* □edited by T. P. Culbert, □pp. 253-284, □Cambridge University Press, □Cambridge.

5) 邦文文献の場合

上記の洋書になりますが、出版地は省略してかまいません。単行本ならば書名を『 』で囲み、雑誌の場合は、論文名を「 」で、誌名を『 』でそれぞれ囲んで下さい。

例) 大井邦明

□1985□『消された歴史を掘る：メキシコ古代史の再構成』□平凡社。

泉靖一

□1967□「ラテン・アメリカの文化財保護をめぐる」□『月刊文化財』□43:32-35。

大林太良

□1963□「古代インカにおける内蔵占いの起源」□『民族学ノート：岡正雄教授還暦記念論文集』（岡正雄教授還暦記念論文集編集委員会編）□pp.231-236、平

凡社。

加藤泰建、関雄二（編）

□1998□『文明の創造力：古代アンデスの神殿と社会』□角川書店。

6) 邦訳が出版されている場合

例) Reichel-Dolmatoff, Gerardo

□1973[1971]□*Amazonian Cosmos: The Sexual and Religious Symbolism of the Tukano Indians*, □University of Chicago Press, □Chicago. (『デサナ：アマゾンの性と宗教のシンボリズム』、寺田和夫・友枝啓泰訳、岩波書店)

7) 著者が複数の場合

二人目からは名-姓の順にして下さい。

例) Fash, William L. and Robert J. Sharer

例) Sharer, Robert J., Julia C. Miller, and Loa P. Traxler

例) ミラー, メアリー、カール・タウベ

8) 英語以外の文献の場合

論文名では、冒頭の語と固有名詞以外は、小文字で表記。書名、誌名は英語の場合にならって下さい。

例) Nuñez, Lautaro

□1976 □Registro regional de fechas radiocarbónicas del norte de Chile. □*Estudios Atacameños* □4: 74-123.

1.6. 図版・写真の使用についてと記述内容の責任について

本人の責任において所有者に対して許可を得て下さい。この点に関してトラブルが生じた場合、一切の責任は著者にあるものとします。また記述内容をめぐるトラブルが生じた場合も、一切の責任は著者にあるものとします。

1.7. 調査研究手法や方法論の明記について

自然科学的な手法で獲得されたデータを用いた記述に際しては、第三者による検証や確認が可能となるように調査研究手法や方法論を明記してください。

(2021年9月改訂)